

1、天高く馬肥ゆる秋

九月半ばを過ぎても家の中には熱風が渦巻き、冷房は効かずだったが、台風一過、ぐっと気温が下がってきた。隣の爺さまも「これが斑鳩らしいところ」と言われるが、転居のままの荷物から秋物・冬物を出そうとしても見つからない。その一方で、芸術・運動・祭典・食欲の秋のニュースは続々と入ってくる。

- 第26回国民文化祭は京都で10/29~11/06 イベント多数
 - ・オープニング・パレードは10/29 10時より 御池通り
 - ・全国鬼サミット 福知山市大江町で酒吞童子から水木しげるの鬼まで
 - ・綾部市では里山合唱フェスティバル 11/3
 - ・宇治市ではマーチングフェスティバル10/30と全国田楽祭11/3
 - ・城陽市では大正琴祭典10/30と和太鼓フェスティバル11/5
 - ・長岡京市ではオーケストラ祭典10/30とクラシックバレ-饗宴11/6

その他多数 詳しくは国民文化祭推進局 075-414-4225

- 大飛鳥展は万葉文化館(明日香)で10/1~11/13 国宝・重文70以上展示
- 斑鳩、藤ノ木古墳・里帰り展 11/3~29 国宝とその復元品(太刀と玉飾り)
- 薬師寺では大宝蔵展=11/13までと 平山郁 西域壁画公開=来年1/15まで
- 大安寺=奈良七大寺で天平秘仏の公開=11/30まで
- 正倉院展=62件の宝物公開=11/14まで
- 興福寺=三重塔の千体仏と北円堂の国宝諸仏公開=いずれも11/23まで
- 法華寺庭園=庭を回遊し、国宝の十一面観音も拝観できる。=11/30まで
- 唐招提寺でも法要と国宝秘仏の公開。10/23まで 等々多数あります。



国宝館阿修羅像

2、秋の中国西安はいかがか？

奈良にも多様な顔があるが、中国の秋といえば北京、西安。いや、他にも素晴らしいところがあるが、今秋の西安で初の『日本考古展』が開かれる。

場所は中国陝西省 西安市の省立歴史博物館 開催期間10/21~12/11 入場料不祥。

「卑弥呼の鏡」から聖徳太子の「小野妹子遣隋」など、私的・公的に行われた日中の交流。朝鮮や渤海との交流や、南海から黒潮に乗って来たもの。そうして生み出された日本の文物。各地に保存されていた至宝の考古遺物が、まとめて海を渡って中国西安市で展示される。ぜひ、行って拝観したいものである。

折から「2011世界園芸博覧会・西安」(10月末まで)も開催され、浜名湖博などで見たあの感激を中国西安でも味わってみたい。奈良で行われた三蔵法師展や平山郁夫先生の業績も回顧される。

3、人に優しく機能的な道路

新聞によると、県知事が奈良南部から和歌山県へ抜ける国道の直線化など、災害に対応出来る道路整備を国に要望する。台風被害が大きかったから当然だが、南部と言わず北部の道路整備も必要ではないか？ 高速道やバイパス整備と共に、すぐ行き止まる道や生活一般道の改善。民間人のマナー向上や交通ルール順守の徹底も大切。急に飛び出してくる歩行者も問題…。 狭い奈良。そんなに急いでどこへ行く？

そんな話をしていたら「奈良は歴史があって道路ができた」という人がいたが、道は昔からあったが、時代に即して改良しなかったのではないか？歴史がある土地だから道路が不備でも、生活が不便でもよいということにはならないと思う。

「ヨソモノの意見」ともいわれたが、「法隆寺だけでない観光」「滞在型や巡回型観光」などのご希望も、それに応えられる安全と至便な対応がなければ「画かれた餅」で「観光立県」にはならないし、「災害に強い県」にもならない。市議会の贈賄工作などに百条委の設置が求められているそうだが、一般の意識改革も必要ではないか。

4、帯解寺参詣

奈良から桜井線に乗ると京終(きょうはて)の次が帯解(おびとけ)で、三輪、桜井畝傍といった日本古代の町に繋がる地であることは承知していた。今回、郡山へ私用で出掛け、少し時間が出来たので帯解寺へ行ってみることにした。奈良県を南北に貫く国道24号線から東へ2kmほどのところである。



東へ行くほど道が狭くなり、奈良特有の一車線交互通行道路となって通行は可能かと危ぶまれる。徐行しつつ行くと「帯解寺デッカ？」と声が掛かった。旅行者に親切な所らしい。「あと30mを左へ曲がる！」とさらに指示があったが、30mではなく100mほどもあった。これは励ましの言葉だろうと好意的に受け取る。

美智子妃、紀子妃のご参詣があったことを大きく掲示していて、お堂も境内も若い二人連れや、孫の誕生を願う老夫婦で賑わっている。道が狭いことは問題ではないらしい。

新礼拝堂や信徒会館なども新築され、奉納された絵馬の数も相当なもの。胎児のための音楽コンサートもあるというから、胎教の復活であり、妊婦にはお勧め！である。しかし、腹の大きな妊婦のマネキンが、腹帯を締めて多数並んでいるのは !?!?!?

奈良新聞の「読者文芸」「時事川柳」より

大窓を放ちて月の慈光院

般若寺は庫裡の奥まで秋桜

外人も采女祭の練り衣装

山の辺のリュック目で追う案山子かな

蒐集の猪口を並べて新走り

貧しくも陽は溢れあり 曼珠沙華

人間が我儘勝手になりました

勿体ない生かして使おうマータイさん

台風や いつも奈良市は有難し

安全を取り戻したき日本地図

5、東大寺ミュージアムができました

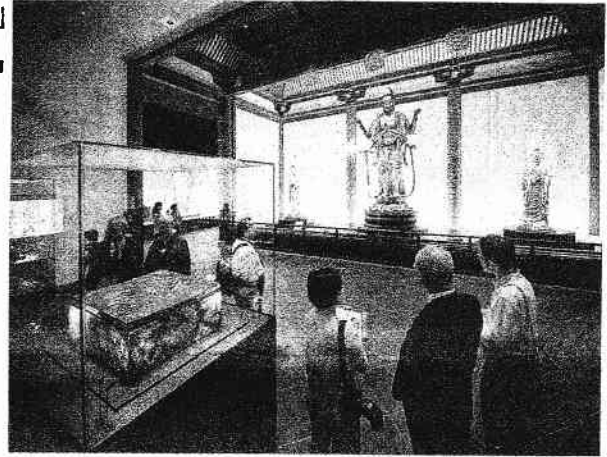
1000年を超す東大寺の歴史。それに纏わる寺宝の数々を紹介するミュージアムが出来た。修学旅行でお馴染みの南大門を入り、鹿の攻撃を避けながら左を見るところ。

早速に開館記念特別展「奈良時代の東大寺」が開催され、今までは近寄れなかった修理中の法華堂(三月堂)から避難して来ている国宝の不空羅索観音像や日光菩薩、月光菩薩なども近寄って拝観出来るし、聖武天皇の真筆など資料でしか知られていなかったものも鑑賞できるとのこと。

国宝だけでも12点あり、重要文化財を含めて相当に重厚なものになる。

修学旅行生も大変だぞ！

表情やわらか天平の仏



ゆとりのある空間に仏像や工芸品が並ぶ展示室。3日、奈良市雑司町の東大寺ミュージアム

6、奈良人は「カラオケ」がお好きなようで・・・

カラオケなる言葉は、元来は業界用語だったと思う。昭和30年代、東京のNHK麹町スタジオなどで、公開放送の一発録音は「ライブ」、オーケストラだけが独奏者抜きで録音したものを「カラオケ(空オケ)」と称したと思う。独奏者の後ろにいるはずのオーケストラ席が空になっていることからの命名だと思う。今のように簡単に多重録音し、弾き間違いなどは何度でも訂正できるのと違い、長い録音テープで面倒な処理をせざるを得なかったため、時間節約や仕事の処理、人件費節約の意味もあった筈である。

33回転のLPレコードや45回転のEPが出始めた頃、独唱や独奏のために伴奏のみを録音したものが売り出されたが、これは「マイナスワン」という。(今でもある)

その後、大変な勢いでカラオケが流行し、中国でも「可拉OK」のネオンが瞬いていたし、現在、斑鳩町の「いかるがホール」もカラオケ練習に集まった人で混雑し、図書返却の駐車もできないことがある。新聞の一面(三面ではない)に各種のカラオケ大会の優勝者が大きな写真と共に掲載されていて大盛況のようである。

もう一つ奈良人が好んでいるらしいのが「パチンコ」。斑鳩町をはずれる辺から、国道24号線沿いや奈良市内にパチンコ屋が数多くある。最初の頃、入口にホテルのドアマンのような制服姿の立派な男が立っているので、何だろうと思ったら賭博場だった。

駐車が只になり市内では便利らしい。昔の「チン・ジャラジャラ音」や「軍艦マーチ」や「タバコの煙りもうもう」の風景は何えないらしい。大勢の人が多額に貢ぎ、モダンで立派な建物が出来て客を招いている。よほど儲かる商売なのであろう。

7、温泉名主と戦艦大和

以前にもご紹介した 温泉名主ドン。相変わらず、誰にでも話しかけているようで、名主「お爺さんお爺さん！あんたお幾つかいノウ」 爺「……」 名「お幾つですかいノウ、ワシヤ昭和3年生まれの83歳じゃが」 爺「わしのことか？わしは大正13年生まれジャ」 「ヘェ!! アテがこくみんがっこ(国民学校)へ上がった時に、アンサはもう五年生だった訳ヤ。ホナラほんもん(本物)の戦艦大和を見はったデッサロ」 爺「わしは陸軍志望ジャケン 見たことない。スヤケド、わしのトモダチャ(友達は)大和に乗ってはったさかい、大和神社に遺品を寄付したイウトッタ。」 「ヘェエ！ 遺品デッカー。アッコ(あそこ)には 戦艦大和関係のものが仰山あるそうデンなあ……」

お二人の話は延々と続くようだが、いつの間にか回りに誰もいない。話をこちらへ振られるのは御免蒙りたいので、名主に捕まらぬよう慌てて湯槽を出る。

(注)大和神社(おおやまとじんじや)：天理市新泉町にあり、伊勢神宮と並ぶ日本の最古社。戦時中戦艦大和に祀られ、その悲劇的最後から関心を集め、海軍遺品が多数寄贈されている。

8、小サギのコロニー

今月で運転免許更新となり、老人講習を受けるために「法隆寺自動車教習所」へ出掛けた。

法隆寺という名を冠しているが、斑鳩町ではなく隣の安堵(あんど)町にあり、車で直線に行こうとしても「行き止まり」等で行かれず、一度、東の大和郡山まで行ってから南下することになる。しかし、大和平野(盆地?)が広がっていて、安堵の名前に相応しい、いい所である。

講習が終わって外へ出ると、鳩より大きな白い鳥が次々と飛んで来るので「何という鳥か」と尋ねたが、確信持って答える人がなく「白サギか青サギだ」「向こうの池に沢山いる」と言う。

帰り道、池の側の大きな木に100羽以上の白い鳥が、鈴なりに留まっていた。イカルでもケリでもないのは確かだ。

資料でみると、サギ類には種類が多い。大型は青サギで90cmにもなる。次いで白サギ、黒サギなど。黒サギの中には脱色して白く化けるという近ごろの娘さんみたいな奴もある。

さらに見ると『小サギ』があった。大きな木にコロニーを作って住み、野田のドジョウ？ いや、畑の小動物をよく食べる。留鳥。とある。

詐欺ではない きっとこれだ！！



☆ 奈良へ車でお越しの際は、道路事情をよく調べて来てください。

南部には台風12・15号で損傷したまま、復旧していないところがあります。

☆ 奈良の仏像紹介カード 郵送可能 @1,500円 県ビジターズビューロー 0742-23-8288